

令和3年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立桶川西小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。
平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和3年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」（文部科学省）より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

令和3年5月27日（木）

4 調査の内容

教科に関する調査 (国語、算数)	・小学校調査は、国語及び算数とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。	
	【小学校・国語・算数 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など	学校に対する調査 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など
	【20分程度】	

本校の調査結果の概況

小学校

＜教科に関する調査＞



国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
話すこと・聞くこと	3	76.2	77.5	77.8
書くこと	2	60.7	61.6	60.7
読むこと	3	43.9	46.8	47.2
言葉の特徴や使い方に関する事項	6	66.5	68.9	68.3

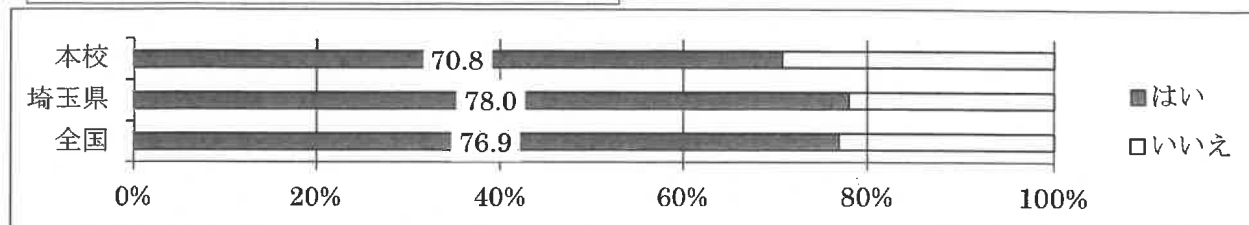
算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	4	58.3	61.2	63.1
図形	3	47.5	54.8	57.9
測定	3	70.3	72.5	74.8
変化と関係	3	75.1	75.8	75.9
データの活用	5	75.1	76.2	76.0

<児童への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

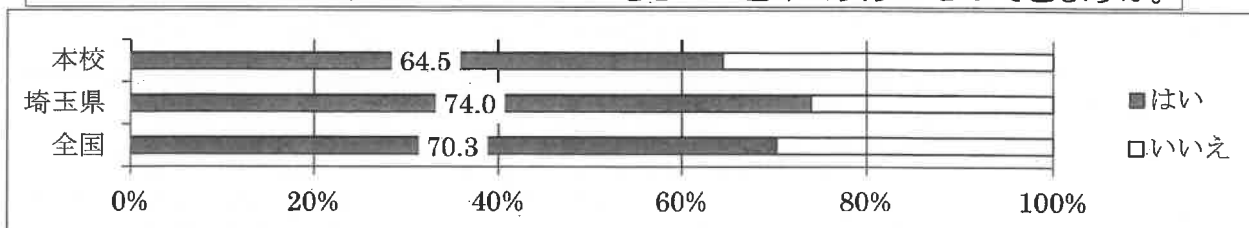
はい…そう思う、どちらかといえばそう思う

いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

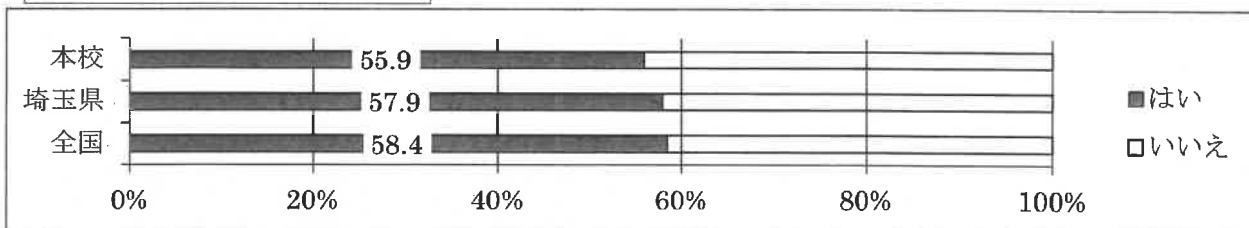
自分には良いところがあると思いますか。



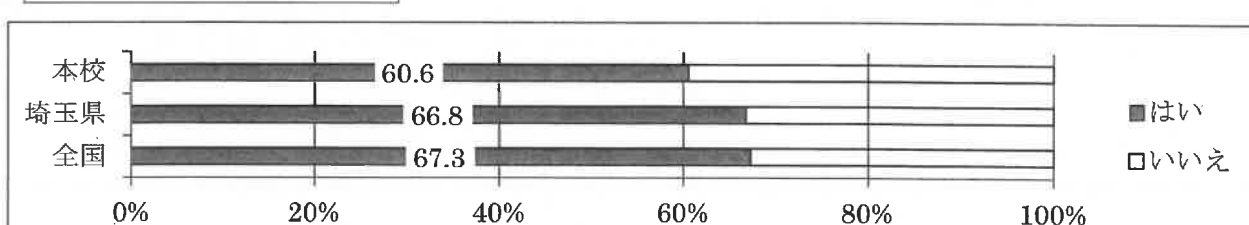
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。



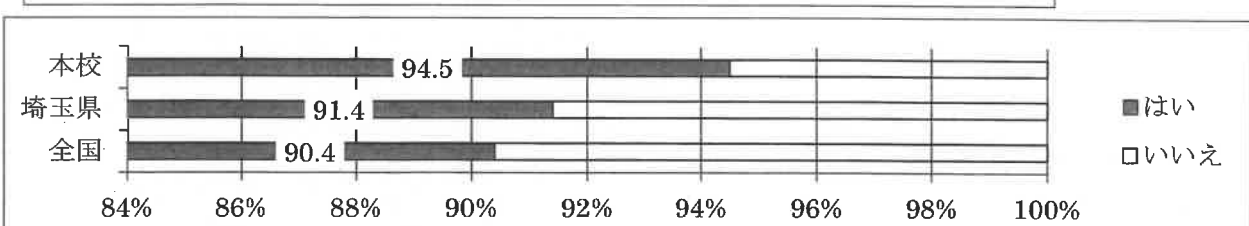
国語の勉強は好きですか。



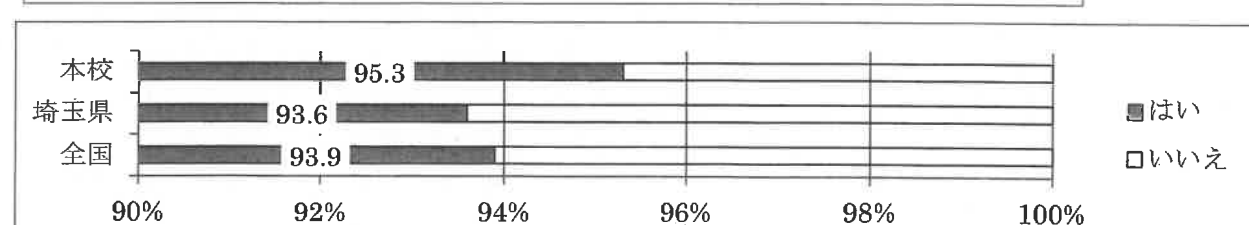
算数の勉強は好きですか。



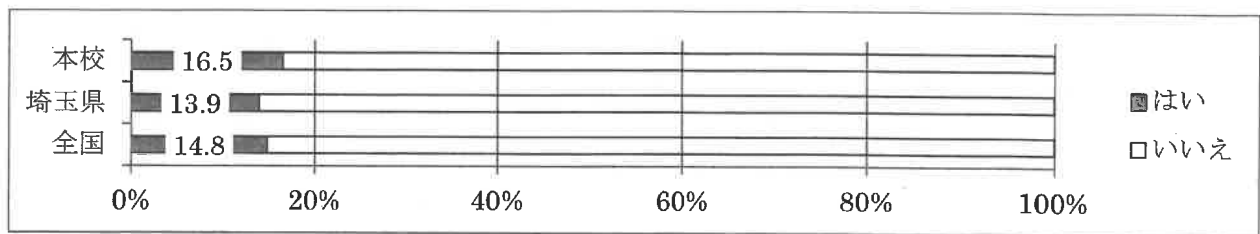
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



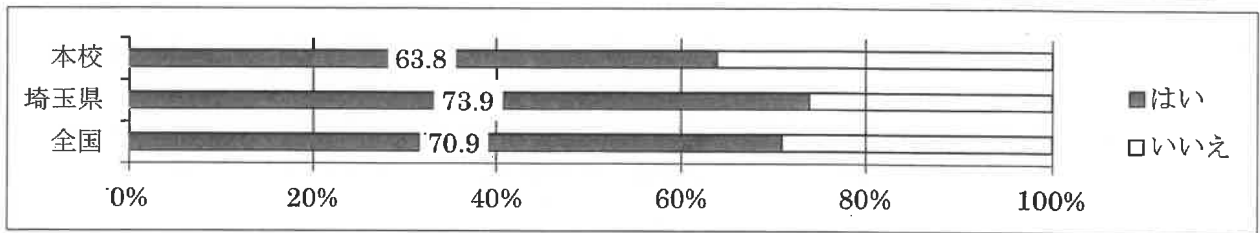
友達と協力するのは楽しいと思いますか。



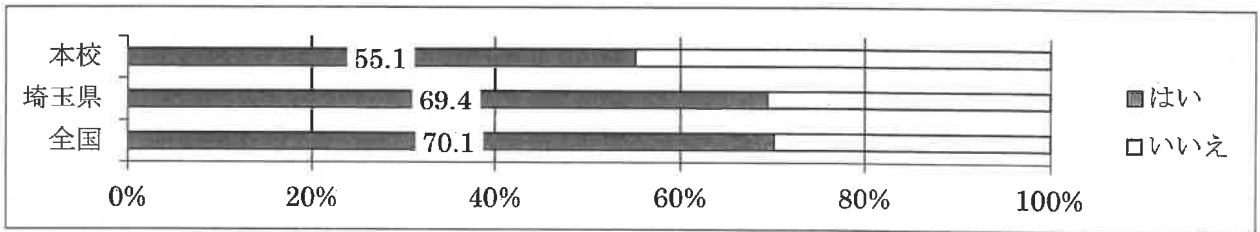
新聞を読んでいますか。



難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。



自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

全国と比較して、3領域で平均正答率を下回る結果となりました。県との比較では、全ての領域（4領域）で平均正答率を下回る結果となりました。全体として、「読むこと」の全国や県の平均正答率との差が比較的大きく、本校の今後の課題といえます。

【問題2四】

問題の概要

面ファスナーの資料を読み、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかについて、与えられた条件に合わせて書く。



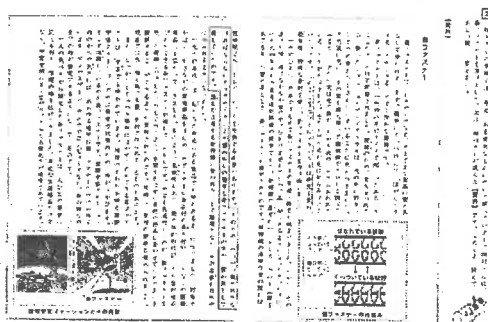
面ファスナーとは、両面にフック状の突起と凹みがあり、互いに嵌り合って面ファスナーが作られる。この仕組みを利用して、様々な面ファスナーが開発されている。例えば、面ファスナーの突起と凹みの形状を変え、互いに嵌り合っていないようにすると、面ファスナーが作られない。また、面ファスナーの突起と凹みの形状を変え、互いに嵌り合っているようにすると、面ファスナーが作られる。このように、面ファスナーの仕組みは、突起と凹みの形状によって決まる。

この設問は、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる設問です。全国平均よりも3.5%、県平均よりも2.2%高い正答率でした。資料の中から必要な情報や語句を見抜き、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くことという目的や、文字数などの条件に合わせて書くことができたと考えます。

【問題2一】

問題の概要

面ファスナーに関する資料の文章が、何についてどのように書かれているかの説明として適切なものを選択する。



この設問は、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる設問です。全国平均よりも3.8%、県平均よりも3.1%低い正答率でした。学習指導に当たっては、「中心となる事柄」を把握するために、事実と感想、意見などの関係を押さえ、文章全体の構成を捉えることができるように、指導方法の工夫改善に努めてまいります。

<算 数>

【領域別】

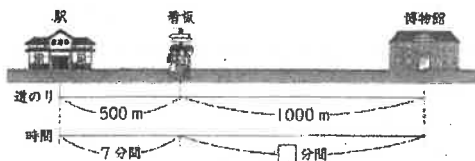
全ての領域（5領域）で、全国と県の平均正答率を下回る結果となりました。図形では、全国を10.4%、県を7.3%下回っており、平均正答率の差が比較的大きく、本校の今後の課題といえます。

【問題1（2）】

問題の概要

500mを歩くのに7分間かかることを基に、
1000mを歩くのにかかる時間を書く。

(2) たけるさんたちは、駅から7分間歩いたところで、「博物館まで1000m」
や「駅まで500m」と書いてある看板を見つけました。



500mを7分間で歩く速さで歩き続けると、1000mを歩くのに何分間
かかりますか。

答えを書きましょう。

正答 14分間

この設問は、速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができるかどうかをみる設問です。全国平均よりも2.3%、県平均よりも1.6%高い正答率でした。問題場面から二つの数量に着目しながら変化の規則性を捉え、その変化の特徴を用いて問題を解決することができたと考えます。

【問題2（1）】

問題の概要

直角三角形の面積を求める式と答えを書く。

図1のような直角三角形があります。

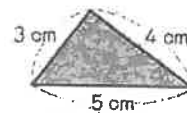


図1

(1) 図1の直角三角形の面積は何cm²ですか。

求める式と答えを書きましょう。

正答 $3 \times 4 \div 2$ 6cm²

この設問は、三角形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる設問です。全国平均よりも2.2%、県平均よりも15.6%低い正答率でした。図形の面積の学習では、公式を用いる過程においてどの長さに着目するかが重要です。学習指導に当たっては、公式を用いる上で底辺と高さの関係を理解し、求積のために必要な情報を選び出して面積を求めることができるようにするよう指導を充実させていきます。

<質問紙調査から>

【質問番号16】

質問

友達と協力するのは楽しいと思いますか。

回答

当てはまる・どちらかといえば、当てはまる

・・・95.3%（本校）

93.6%（埼玉県）

93.9%（全国）

本校では、なかよし班や登校班、委員会活動やクラブ活動、通学班ブロック下校など、異学年の交流が盛んであり、学級の雰囲気も良好です。新型コロナウイルスの影響により、制限される活動が多い中でも、感染拡大防止に十分に気を配りながら西っ子フェスティバルなどを行ってきました。引き続き、温かい学級の雰囲気や協力し合おうという意識を育む指導や活動に取り組んでまいります。

【質問番号】

質問

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

回答

当てはまる・どちらかといえば、当てはまる

・・・55.1%（本校）

69.4%（埼玉県）

70.1%（全国）

本校では、昨年度まで学校課題研究として「考える力を身に付けた児童の育成」をテーマに3年間研究を行ってきており、今年度から「国語科における豊かな表現力の育成」をテーマにした研究をスタートしました。子供たちが、自分とは異なる立場の意見にも耳を傾け、考えを深めたり広げたりし、さらに発信していけるよう、教職員一同研究を重ね、指導してまいります。

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和3年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

令和3年5月12日（水）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

<教科に関する調査> は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
教科の領域等	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
言葉の特徴や使い方	12	75.0	71.6	13	58.3	58.0	14	63.6	61.6
情報の扱い方、我が国の言語文化	5	74.1	67.9	4	60.7	60.1	3	73.3	72.7
話すこと・聞くこと・書くこと	5	29.1	29.3	4	44.3	40.6	4	43.8	43.9
読むこと	4	42.9	41.1	9	60.6	60.3	9	57.5	55.8
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑	↑↑↑↑		↑↑↑	↑↑↑↑

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
教科の領域等	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
数と計算	12	77.1	72.2	13	66.4	65.0	12	65.6	63.1
図形	6	60.5	58.3	6	58.9	60.4	7	59.8	62.3
測定	6	74.2	71.6	7	63.0	61.2	6	63.1	64.2
データの活用	6	75.8	75.2	6	57.9	56.1	7	55.8	53.1
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑		↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑

＜児童への質問紙調査＞（主な結果：「規律ある態度」に関する項目の結果）

※ 達成率：「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合

上段：本校の達成率、下段：県の達成率、 は80%以上

(%)

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る			
	① 登校時刻	93.3 91.5	96.4 93.4	92.8 94.0
	② 授業の開始時刻	90.8 90.5	91.8 93.2	96.8 94.8
	2 身の回りの整理整頓をする			
	③ 靴そろえ	72.3 83.3	86.4 83.6	83.2 86.8
	④ 整理整頓	82.4 78.8	86.4 80.2	80.0 78.8
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
	⑤ あいさつ	67.2 78.5	83.6 78.2	77.6 78.0
	⑥ 返事	78.2 87.5	89.1 87.9	80.0 86.4
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける			
	⑦ ていねいな言葉づかい	80.7 86.0	92.7 86.7	89.6 88.0
	⑧ やさしい言葉づかい	82.4 84.6	85.5 84.6	75.2 84.1
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る			
	⑨ 学習準備	89.1 84.1	94.5 85.9	91.2 86.6
	⑩ 話を聞き発表する	66.4 76.4	74.5 76.0	64.8 72.7
	6 生活のきまりを守る			
	⑪ 集団の場での態度	86.6 83.5	88.6 83.7	84.0 83.9
	⑫ 掃除・美化活動	91.6 91.1	93.6 88.7	90.4 87.4

本校の学力向上の取組

授業における取組

- ☆1 個に応じた指導を充実しています。
 - (1) チームティーチングで、きめ細やかな指導をします。
 - (2) 単元ごとのワークシートを活用し、習熟度の確認をします。
 - (3) プレテストやコバトン問題集等を活用し、児童の実態を把握します。
- ☆2 言語活動の充実を図っています。(全教科)
単元の流れを見通して、豊かに表現する活動を取り入れることを目標にします。
 - (1) 意見や事実を考える。
 - (2) 考えたことを書く。(一定の時間にある程度の文字数は書かせる。)
 - (3) 書いたことを話し合ったり、伝え合ったりする。(ペア・グループ・学級内で)
(理解を促し、考えを深めるために)
- ☆3 年間2回、スキルアップタイム(国語・算数)を実施し、その学年で身に付けなければならない基礎的・基本的な事項についてテスト形式で確認し、その結果を授業や宿題等に反映させ学力の確かな定着を図ります。
(コバトン問題集や復習シート等を活用します。)
- ☆4 授業力を向上させるため、互いの授業を見合う場をより多く設定し、授業について話し合う場を通して教師同士の学びを深めます。
- 5 デジタル教科書やタブレット、クロームブックなどのICT機器を活用することで、子供達の興味関心を引き出したり、学習の理解を深めたりすることができるよう教材研究を進め、授業を展開します。また、研修で活用の仕方を周知し、活用できるようにしていきます。
- 6 身の回りの整理整頓やチャイム着席、学習準備などの規律が身に付くよう校内の約束事を周知し、当たり前前の方が当たり前前できるようにしていきます。

授業以外の取組

- ☆1 個々の評価を蓄積し、個の実態を把握した学習指導を行っています。
- ☆2 授業規律の確立のため、学年ごとの学習用具のきまりを各学級で指導しています。
- ☆3 図書室の整備・活用を進め、読書活動のさらなる推進と家庭への奨励を行っています。11月には、図書館教育部による読書月間の取組をしています。
- ☆4 学校行事等、児童が目標やめあてをもって、最後まで全力で取り組めるよう、また友だちと協力し絆が深められるよう、支援しています。
- ☆5 家庭と協力して、家庭学習の習慣化を図り、学力の定着を目指します。
- 6 県作成のコバトン問題集や復習シート、学力向上ワークシートを授業や宿題等で活用することで学力の向上を図ります。
- 7 校内の研修会を実施し職員の指導力の向上を図ります。

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組

本校の学力向上プラン

学力向上プラン

日本国憲法 教育基本法 学校教育法
学習指導要領
埼玉県教育行政重点施策
指導の重点（埼玉県教育委員会）

令和3年度 桶川西小学校学力向上プラン全体計画

学校教育目標

- かしこく ・自ら考える子
○ゆたかに ・思いやりのある子
・進んではたらく子
○たくましく ・つよい心と体をもつ子

児童・家庭・地域の実際

- ・児童は明朗、素直、協力的であるが、積極性や粘り強さに欠ける傾向にある。また、自己を表現する力も弱い。
- ・児童数はほぼ横ばいで、保護者の職業は会社員等が多く、共働き家庭や一親家庭が増加している。
- ・学区は畑作地や雑木林の跡に広がる新興住宅地であり、旧住民の割合は低下している。

・各教科等の指導の重点

- 問題
- 学校臨研研究を推進する。
 - 望ましくない習性環境の整備をする。
 - 強力な言語能力の育成と辞書の工夫をする。
 - 日常生活で活用できる言語能力を身に付けさせるため、言語活動例を通して指導する。
- 社会
- 見方が主体的に取り組めるような学習環境を整備する。
 - 地域密着の教材と教材化を進め、意見が興味をもつ取り組みのような工夫をする。
 - 学習に役立つ教材の選択、更新を積極的に行進める。
- 算数
- 朝の時間を活用して、四則計算の基礎的な技能を身に付ける。
 - 数学的活用の楽しさと数理的な処理のよさに気付かせ、進んで学習に取り組もうとする。
 - 態度を育てる。

目指す学校像
子供 保護者 地域に伝

- 基礎的・基本的な学力を明確にし、確実に身に付ける。
- 基礎的・基本的な規律態度を明確にし、着実に身に付ける。

令和3年度埼玉県学力・学習状況調査及びアンケート等から見た課題

- 右の表で各書類とその基礎的、基本的な知識、技能を身に付け、活用すること。
- 国語法を掌握して文章の構成を理解し、読み取ること。
- 国語辞典、漢字辞典と積極的に活用し、語彙を増やすこと。
- 四則計算（計算のきまり）の計算力を身に付けること。
- 既学事項とともに、自分の考えをまとも、表現する力（話す・書く）を身に付けること。
- 国語の計画を立てて、答えを見通したうえで習慣を身に付けること。
- 読を聞き、発表すること。
- 進んであいさつすること。
- 国語の成果を国語や他と比較し下回っている区分も大きなきなきと認め、概ねよい結果であった。
- 「勉強して大切だと思ったことは、言わなくてもノートにまとめが」が果・市よりも一歩進んでいる。
- 授業を写すの大切さ、大切なことを自らメモする習慣が身に付くよう指導する。

各教科等の指導の重点

- 外国語指導・外国語
 ○外国語によるコミュニケーションにおける見
 方・考え方を働かせ、5領域の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地や基礎
 的な資質・能力を育成する。
 ○A・L・Tとの連携を図り、効果的なA・L・T活用
 を行う。
- 総合的な学習の時間
- 既得的な見方・考え方を働かせ、よりく
 - 際地域や文化に関する授業を実施する。
 - 学校や地域、児童の実態を生かし、学習環境
 - の整備と保護者や地域の支援体制づくりを行
- 道徳教育
- 道徳的価値の自覚及び、自己の生き方につ
 - いての考えを深める道徳の授業の着実な実践と充実
 - を図る。
 - 学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育
 - の充実を図る。
- 特別活動
- 年齢・年齢集団の活動を通して、児童間の関わり
 - を深める。
 - 学習活動の充実を図り、話し合い活動を基盤に
 - する。
 - 体験活動を充実させ、児童一人一人が年齢や
 - 学校におけるよりよい生活や人間関係を築く

各教科での基礎となる基礎的・基本的な知識・技能と規律ある態度を身に付け、本校児童の学力を向上させる。

<具体目標>

- ◎令和4年度埼玉県学力・学習状況調査で、各教科の領域（3学年×8区分）すべて（24区分）が埼玉県平均正答率を上回ることを目指す。

	I	II	III	IV	V	VI	VII
改 善 の 観 点	指導内容、指導方法の工夫	教育課程上の工夫	新教育課程への対応の工夫	学習評価活動の工夫	授業研究の計画と実施の工夫	学校評価、評価の計画と実施	家庭や社会との連携の工夫
取組の基本方針	○基礎的・基本的な知識の習得と活用 ○説明力や書く活動の学習に重点を置く ○資料活用能力の育成 ○各教科にわたる見方・考え方に着目する	○学習指導要領の理念を踏まえた教育実践の継続 ○各教科、各学年間の横断的、発展的指導の工夫 ○学習計画の作成 ○単元やまとめで、教員の仕方など、教科横断的な指導の計画	○令和４年度教育計画の作成 ○教科主任を中心とした年間指導計画を定める ○書籍類の充実を図る計画	○一人一人のよさや高まりをみる評価 ○各教科・領域の年間指導計画に評価規準や評価計画を記載する ○教科や領域の特性にあった評価計画 ○学習目標の明確化 ○各単元や単位時間での学習目標の明確化 ○できた喜びを味わわせる学習活動の展開 ○電子化による評価の蓄積	○学校課程目標と実態 ○学ぶことの楽しさを味わわせる ○表現力を育成するための授業展開の工夫 ○授業研究の実施 ○授業研究の整備 ○児童の美徳の展開 ○主体的・対話的で深い学びの実現 ６課の活用 ※小中学校の連携 ※道徳実践の活用 ※個別の支援計画	○学校として組織的・継続的に改善を図る ○本校職員による自己評価 ○保護者地域長官アンケート ○校内評価委員会 ○学校運営協議会 ○結果の公表等	○児童に「習得ある修得」を身に付ける ○身に付けるべき「表現ある態度」の育成 ○「読解力、発達することできる」 ○「整理、机やロッカーなどの管理を自分で行うこと」 ○「読書の楽しさやものをそろえること」 ○「家庭で、自分の字で」できる。
課題解決のための具体的取組 (途と方法)	○ICTの活用 ○習得の時間を確保 ○全学年での「Ｔ・少人数指導」の実施（１，２年は「Ｔ」） ○「まなびタイム」の充実 ○「スキルアップタイム」の充実を図る。	○ICTの活用 ○体系的学習、問題解決的な学習の計画的な位置付け	○学習案内配付 ○教科指導研究会	○校内授業研究会 ○通知表配付（学期ごと）	○校内授業研究会 ○校内授業研究会 ※巡回支援	○学校だより ○全国学力・学習状況調査 ○新潟学力・学習状況調査 ○調査結果・報告会 ○個人事業 ○生涯学習センターの活用	○学校、学年だより ○学校公開日 ○学校説明会 ○授業参観・報告会 ○個人事業 ○生涯学習センターの活用
関連する行事等	○教育支援担当学校訪問 ○学校公開日 ○校内授業研究会（年３回）	○学習案内配付	○学習案内配付 ○教科指導研究会	○校内授業研究会 ○通知表配付（学期ごと）	○校内授業研究会 ○校内授業研究会 ※巡回支援	○学校だより ○全国学力・学習状況調査 ○新潟学力・学習状況調査 ○調査結果・報告会 ○個人事業 ○生涯学習センターの活用	○学校、学年だより ○学校公開日 ○学校説明会 ○授業参観・報告会 ○個人事業 ○生涯学習センターの活用

令和3年度 埼玉県学力・学習状況調査平均正答率 橘川西小学校 R3.5.12 4.5.6年生

※数値は、平均正答率(%)、太字・斜体は埼玉県平均正答率を上回ったもの

学年		4年生			5年生			6年生		
		本校	橘川市	埼玉県	本校	橘川市	埼玉県	本校	橘川市	埼玉県
教科・区分	合計結果	61.7	59.2	58.0	67.5	57.0	56.7	60.7	58.0	58.8
	算数の得意不得の差	75.0	72.6	71.6	88.3	58.9	58.0	63.6	61.9	61.6
	算数の得意不得の差	74.7	70.8	67.9	60.7	59.5	60.1	78.3	72.7	72.7
	算数と国語・理科の得意不得の差	29.1	28.9	29.3	44.3	39.4	40.6	43.8	43.9	43.9
	算数と国語・理科の得意不得の差	42.9	42.7	41.1	60.6	60.8	60.3	57.5	56.7	55.8
	算数の伸び	—	—	—	0	1	1	1	2	2

令和3年度 全国学力・学習状況調査平均正答率 橘川西小学校 R3.5.27 6年生

	国語	算数
全国(公立)	64.7	70.2
本校	63 (-1.7)	67 (-3.2)

※数値は、平均正答率（％）、本校（ ）内の数値は、全国平均正答率との比較を示したもの

保護者・地域の皆様へ

日頃から本校の教育活動へのご理解とご協力、誠にありがとうございます。全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果から、本校では、早寝・早起き・朝ごはんや家庭での学習環境など、基本的な生活リズムの整っている児童が多い傾向にあります。ご協力いただきありがとうございます。